西区の西 堺市議会議員「西てつし」市政報告

2022年 初夏号

いつも市政報告を読んで頂きありがとうございます。議員任期も半年強になりました。生まれ育った堺を、住みやすい街にしたい、子育てをしっかり支援する街にしたい、持続可能な街づくりのモデルを創りたい等と考え、サラリーマンを退職して政治の世界に飛び込んでからもう15年になります。まずはあと残りの任期、愛する堺の為、大事な西区の為、政策をもって政治を変えたいという初心を忘れず、全力で挑戦していきたいと思います。

市長は、財政危機をいたずらに煽り、堺の未来を切り拓く為であるはずの子育て支援や教育などの予算を削ると共に、コロナ禍の対応に堺市独自の予算支出を殆ど行わず、国からのコロナ対策の交付金を従来の事業につけかえるという驚くべき対応をしています。その一方で、ベイエリア開発に多額の予算を使うと共に、20億円以上かけて堺市の中心部で自動運転のバスを走らせるプロジェクトの実施を表明し、いかに使うかではなく使うことありきの効果の曖昧なICT関連の事業を数多く実施する等、問題の多い今年度予算となっています。

市民の皆様から預かった貴重な税金の使い方として疑問が多い状況が続いていますが、引き続き、事業の政策効果を追求するとともに、堺市民の為に必要なことは何かを改めて議論し提言していきたいと思います。引き続きご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

堺市議会議員 西 哲史

令和4年度ムダづかい削減案を提出！➡ 維新・共産の反対で否決

令和4年度予算審議の中で、具体的な取り組みが全く示されなかったり、効率的な使用という観点から効果指標が具体的に示されなかったりした事業について、自民党と、私の所属する会派「堺創志会」共同で削除案を3月末に提出しました。具体的には「健康アプリを活用した生活習慣の改善」「ナッジ×デジタルによる環境行動変容の促進」「堺モビリティ・イノベーション推進事業」「全国青年市長会負担金」の4事業3,451万円のムダづかいの削減を提案しました。その他にも気になる事業はありますが、少なくともこの４事業について意義や効率的な予算の使い方についての説明がなかった為に提案に至りました。この修正は、公明党と大阪維新の会及び共産党の反対により否決されましたが、その後、公明党から「健康アプリを活用した生活習慣の改善」についてのみ予算から削除する新たな修正案が提出され、維新・共産以外の賛成で可決されました。しかし、その後の本会議において、市長より地方自治法に基づく再議が提出され、可決のハードルが過半数から3分の2の賛成に上がった結果、維新・共産の反対で否決されました。予算の意義も効果も不明瞭な予算項目が認められることになったのは非常に残念です。引き続き予算執行について監視を強めていきます。

プロフィール 西てつし（43歳）

よく聞かれますが、親は政治家ではありません。サラリーマン出身です。政治家の秘書から政治の世界に飛び込んだわけでもありません。

1977年 堺市内にて生まれる
1990年 堺市立平岡小卒
1993年 堺市立上野芝中卒
1996年 大阪府立三国丘高卒
2001年 関西学院大学総合政策学部卒
2003年 慶應義塾大学大学院 政策メディア研究科修士課程修了
2003年 株式会社博報堂入社（06年退職）
2007年 堺市議会議員に当選（1期目）
2012年 関西学院大学講師（13年迄）
2015年 堺市議会議員に当選（2期目）
2019年 堺市議会議員に当選（3期目）

現在
- 危機管理体制検証特別委員会委員長
- 産業環境委員会委員
- 西区青少年指導員会副会長

声援カンパで私の政治活動の支援をお願いいたします。

これまで政治をゆがめてきた、しがらみだらけの企業献金や資金パーティと一線を画すために、「西てつし」声援カンパにご協力をいただければ幸いです。

- 郵便振替口座番号　00920-1-328661
- 口座名称　西てつしと共に歩む1000人委員会
- 声援カンパ　一口 2,000円（何口でも結構です）

ポスターを貼れる場所を探しています

どうかご協力をお願いいたします。
もし可能な方は事務所まで、
電話・ＦＡＸもしくはe-mailで
ご連絡いただければ幸いです。

西てつし事務所 〒593-8322 堺市西区津久野町1-1-1-2F TEL：072-260-1977 FAX：072-260-1978
E-mail：info@nishitetsu.net http://www.nishitetsu.net twitter:@nishitetsu1977

おでかけ応援制度維持へ

市長は、65歳以上の市民が市内路線バス等を1回100円で利用できるおでかけ応援制度について、**3年前の市長選挙で、拡充を公約したにも関わらず**、12月議会では、対象年齢を70歳以上に見直す制度を提案しました。これに対して、市議会では、維新以外の会派の反対で否決しました。しかしながら、再度、市長は2月議会に、再度縮小案を提出し、維新以外の会派の反対で否決されました。おでかけ応援制度は、高齢者の健康維持や社会参加に効果があるだけではなく、平成28年時点でバス利用を52.4%増加させていることが明らかになっており、堺市内バス路線の維持に大きく貢献しています。また、経費（市負担年4億円）に対して堺市内の消費金額が約５４億円増加する等非常に効果的な事業です。その観点から考えると、この制度を縮小していくことは大きな問題です。まだまだ行財政改革の余地や無駄遣い削減の余地がある中、市長が公約違反をしてまで、この制度を縮小していくことには疑問が多いと言わざるを得ません。すべての世代にとって重要な公共交通の維持・拡大に向けて引き続き議論・提案していきます。

堺市立日高少年自然の家廃止が可決

堺市のたくさんの子ども達が学校の宿泊訓練で使用し、子ども会をはじめとした様々な青少年団体も利用してきた堺市立日高少年自然の家の廃止が12月に議会に提案され、可決されました。私は、年間約5700万円の指定管理料の支出を無くす必要がある、との市当局の説明に対して、解体費用が約10億円かかること、指定管理期間中での急な解約は賠償請求される可能性があること等、経費削減についての議論が不十分で廃止ありきの拙速な判断であることや、この施設が無くなった場合に子供たちの宿泊型の野外研修施設が近隣で不足すること等を理由に反対しました。その結果、委員会では否決したものの本会議では賛成多数で廃止が可決されました。これについての議論の中で、市長は、「**現地には一度も行っていませんが**、廃止が必要と判断しました」と答弁したことは非常に残念です。多くの市民が関わり、思い入れのある施設です。政策決定者として市民のなかで賛否が大きくわかれる議案については、しっかりと現場を見て判断されるべきにも関わらず残念です。改善を強く求めて行きたいと思います。

日経子育てしやすい街ランキング低下

日本経済新聞社が自治体の子育て支援制度に関する調査結果を基に発表している「共働き子育てしやすい街ランキング」で、堺市は（現市長の任期がはじまった）2019年は西日本1位、全国6位でしたが、2021年は西日本２位、全国8位と少しずつ低下してきています。この調査には、私たちの会派が議会ではじめて提案したワンコイン医療費助成をはじめとして、堺市独自の子育て支援の取り組みである、待機児童削減のための公共施設の活用や保育料無償化の取り組みが評価されてきたということです。新しい時代を切りひらく子育てや教育への予算を始めとした政策資源の投下が少しずつ減少してきている結果が、このようなランキングの低下に少しずつ現れてきているのが心配です。ベイエリア開発やインバウンド依存型の政策ではなく、しっかりと次世代への投資を進めていくことが堺の元気を創るために重要と考えますので、引き続き積極的に議論していきます。

大綱質疑

2月24日の「大綱質疑」で、会派「堺創志会」を代表し堺市政各般にわたって議論を行いました。

●発言録や動画は、https://nishitetsu.net/category/assemblyrecord にてご覧いただけます。

●発言抜粋・要約

成人式について

西質問　市が実施決定し、コロナ感染拡大の中、青少年指導員の方々のボランティアで成人式が開催された。課題も多かったが、主催者であるにも関わらず**市長は欠席した**。堺市主催の最も大きい行事の一つである以上、主催者として、現場をしっかりと確認しておくべきではなかったか。

→市長答弁　ビデオメッセージをお贈りし会場での出席は見送った。

→西要望　翌日も市以外主催のイベントに出席しているにも関わらず、理由もなく大きな主催行事を欠席するのはおかしい。現場に居るからわかることがある。自覚をもった対応を求める。

行財政改革について

西質問　これまで全会計を対象にしてきた行革効果額を発表してきたが、現市長になり発表していない。一般会計のみの収支改善額を発表するようになった。併せて示すべき。

→副市長答弁　一般会計以外では（行革については）極限点に達していたので対象外とした。

→西要望　一般会計以外は前市長時代から引き継いだ時点で状態が良かったことはわかるが、各会計間でやりとりができる以上、全会計を対象にモニターしていくべき。

西質問　財政危機の根拠として、市長は令和13年度までの推計期間で基金が枯渇することをあげてきたが、枯渇する見込みがなくなったのではないか。

→局長答弁　財政危機脱却プランを実施しなくても当初の推計期間中には枯渇しなくなった。

→西質問　財政危機のもう一つの根拠として令和13年までの推計期間中に予算編成ができなくなるとしてきたが、それはどのようになったか。

→局長答弁　推計期間中の収支改善予定額の累計約250億円のうち89億円減少したとしても、推計期間最終年令和13年度の予算編成は可能。

→西要望　財政危機といたずらに煽るのではなく、しっかりと脱却する基準を市民に示すべき。

カーボンニュートラル（脱炭素・炭素中立）について

西質問　サプライチェーン全体での二酸化炭素削減を求める企業が多くなってきている中、（前回要望したが）Scope3の取り組みをはじめ、市内企業の脱炭素の取り組みの支援によって、市内企業の利益にもつながると思うが対応について示されたい。

→局長答弁　2月には脱炭素経営セミナーを商工会議所と共催で実施した。**カーボンニュートラルの実現にいち早く取り組むことが市内企業の優位性につながる。市内企業のカーボンニュートラルの推進を支援する。**

ICTを活用した校務効率化について

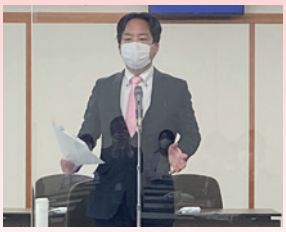
西質問　小中学校の連絡帳やプリント配布が、教職員や保護者に負担がかかっている。文科省から1月に、ICTを活用した校務効率化について通知が出ている。一人一端末となった中で、デジタル化して効率化するべき。

→教育監答弁　デジタル化を進めて創出された時間が子どもたちと向き合う時間の確保につながる。**連絡帳や各種プリントについても、コミュニケーションツールであることから、紙媒体からデジタル化へ移行していく。**

→西要望　複雑なシステムを多大なコストをかけて構築するのではなく、既存のSNSやメールツールなどを使って簡便に分かりやすく連絡できる仕組みづくりを求める。

その他「公職選挙法」「プラスチック循環法施行に伴う循環型社会の形成」について取り上げました。詳細は議事録を読んでいただけると幸いです。

健康福祉常任委員会



健康福祉常任委員会において、9月24日、12月15日、1月11日、3月17日と質疑しました。

●発言録や動画は、https://nishitetsu.net/category/assemblyrecord にてご覧いただけます。

●発言抜粋・要約

ペット霊園の設置等に関する条例について（9月24日）

議会の質問がMBSで取り上げられました

西質問　平成30年の大綱質疑で、（当時は）動物の遺体の処理について明確に位置づけられていなかった為、地域に不安をもたらすと共にペットの尊厳が侵されているのではないかと質問し、ペット霊園の設置や適切な管理及び遺体の処理について**条例の制定を提案してきたが**どのようになったか。

→課長答弁　ペット霊園等について、公衆衛生の確保、施設の利用者の保護及び市民の良好な生活環境の保全に資するため、その設置や適切な管理について必要な事項を定めて今回条例を提案した。

保育施設などの利用の申込みについて（9月24日）

西質問　保育園・子ども園の申し込みが手書きであることについて、**改善し効率化することを求めてきた。**どのようになったか。

→課長答弁　今年度はまずは利用者が**オンライン申請をすることができる環境をつくった。**申請者は（窓口に来なくても）**スマートフォンでも申請できるようになった。**

→西質問　手書きの申込書を職員が入力することにより、事務コストが大きい。効率化しその分を市民サービスの向上につなげるため、オンライン申請にとどまらず、民間のように窓口でもデータでの提出をするようにすべきと考えるが。

→課長答弁　バックヤードの事務についても業務の効率化や事務負担の軽減につながるよう研究を進めていく。

青少年宿泊研修施設について（12月15日）

西質問　来年度、堺市立日高少年自然の家を廃止し、東吉野ふるさと村への補助を廃止すると市長は提案している。全政令指定都市で唯一野外型宿泊研修施設を持たない市となるが、自然の中での青少年健全育成をしようと思う、学校や青少年団体にとって充足できていると考えるか。

→課長答弁　利用している学校は移転できたと認識している。

→西要望　利用しているのは学校だけではない。子ども会やPTA、スポーツ団体等も利用している。自然の中での宿泊研修施設の確保についてしっかりと考えていくべき。

難病患者の孤独対策や就労支援について（3月17日）

西質問　難病患者の就労支援について議論し、孤独対策についても議論してきた。今年度の取組はどうなっているか。

→課長答弁　従来のハローワークと連携した情報提供や相談の支援に加えて、難病患者の就労を受け入れる事業所向けの動画・チラシを作成するとともに、人事担当者向けのアンケートを実施し効果的な就労支援を行う。

→西要望　外出困難な難病患者が、分身ロボット（Orihime）を活用して、テレワークで就労する事例が、首都圏の自治体を中心にいくつかある。ぜひ、分身ロボット（Orihime）を活用して就労する事例を堺でもつくってほしい。

子どもの視力検査について（3月17日）

西質問　3歳児健康診査の際、ランドルト環を用いた検査が行われているが、他市では弱視の早期発見のため機械を用いて屈折検査を行っている。乳幼児の弱視対策は早期発見、早期治療が重要である。本年は国と大阪府から補助がでるので、屈折検査をできるようにすべきではないか。

→課長答弁　屈折検査を導入しているほかの自治体の事例を参考に、よりよい検査体制の在り方について研究していく。

その他「新生児世帯特別給付金の算定根拠」「東吉野ふるさと村への負担金廃止」「日高少年自然の家の廃止」「こども園のオムツの持ち帰り」「高齢者健康増進施策」「認知症予防と認知症サポーターリング」「自殺対策とインターネット」「子育て施策とその効果」「シングルマザーの就労支援」について取り上げました。　詳細は議事録をよんでいただけると幸いです。（※日高少年自然の家廃止については２頁、オムツの持ち帰りについては最終頁をご参照ください）

危機に強い安心社会実現調査特別委員会

危機に強い安心社会実現調査特別委員会において、10月21日に質疑しました。

●発言録や動画は、https://nishitetsu.net/category/assemblyrecord にてご覧いただけます。

●発言抜粋・要約

避難所開設・運営のノウハウの共有について

西質問　熊本地震や東日本大震災の現場にも堺市職員が救援に派遣されていた。ぜひ派遣された職員が避難所運営のノウハウを市役所内や各自治会役員の方々に共有していく仕組みをつくっていくべきではないか。

→課長答弁　避難所運営の課題や対処方法などを認識し、また議論する取組も進めてきた。各区役所が中心となって、**校区避難所運営マニュアルの策定を契機とした地区防災計画の策定などの取組を進めていく。**

避難所運営とソーラーパネルについて

西質問　68校の小学校にソーラーパネルが設置されている中で、災害時に携帯の充電等に使えるようにマニュアルの整備や地域への説明を求めてきた。その結果、平岡小学校や錦陵小学校で地域への説明が実施された。２校にとどまらず全68校でソーラーパネルを災害時に地域で活用できるようにしていくべきではないか。

→課長答弁　**避難所における太陽光発電設備の活用について、危機管理室、各区防災担当との連携の下、地域の方への積極的な情報提供に努めていく。**

予算審査特別委員会分科会

予算審査特別委員会において、3月3日（建設委員会所管事項）、3月4日（総務財政員会所管事項）と質疑しました。

●発言録や動画は、https://nishitetsu.net/category/assemblyrecord にてご覧いただけます。

●発言抜粋・要約

戦略的広報について

西質問　戦略的広報の観点からいえば、調査をして、そのデータに基づいて事業を行うということが必要になってくるのではないか。

→課長答弁　令和4年度に本市の都市イメージをはじめ必要なデータを収集・分析できる**調査等を定期的に実施する**。調査で得られたデータについては分析・検証した上で庁内に情報も共有し、広報活動を戦略的に実施する。

公園の維持管理（草刈り）について

西質問　堺市がシンボルパークとして位置付けている大仙公園が昨今、草が非常に背が高くなっており利用に支障が出ている。予算や体制はどうなっているのか。

→所長答弁　10年前とくらべて管理面積は大きく増えて物価も上昇しているが予算は同額。体制は、13人から8人に減員している。

西質問　より高い水準の維持管理をしていく必要があるのではないか。

→所長答弁　できる限り除草回数を増やすなどして、来園者の皆様が安全・安心・快適に公園を利用していただけるよう適切な維持管理に取り組んでいく。

駐輪場の整備について

西質問　駐輪場の利用状況について、国土交通省は、駅改札から２００メートルを超えたら利用が激減すると発表している。駐輪場が充足しているかを測る為には、２００メートル以内で判断していくべきではないか。

→部長答弁　**実態に基づく状況も整理しながら、現在示している利用率だけではなく新たな指標を検討していく。**

その他「津久野駅周辺再整備」「青年市長会会費の他市の2倍の計上」について取り上げました。詳細は議事録を読んでいただけると幸いです。（※津久野駅周辺再整備については最終頁をご参照ください）

整備案件

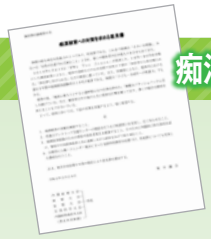
SAKAI

自治会役員の皆様や担当課をはじめとした様々な皆さんのご協力を得ながら地域の安全なまちづくりについて頂いた要望の実現に努めることができました。
下記以外にも実現途中のものがありますので引き続き実現に努めます。（五十音順）

◎上野芝町百済川河道内の雑木伐採
◎上野芝向ヶ丘町5丁水銀灯設置
◎家原寺町2丁舗装修繕
◎神野公園樹木剪定
◎津久野駅西口照明補修
◎八田寺公園側溝修繕、補修
◎堀上緑町1丁歩道舗装修繕

最近の出来事

痴漢被害の対策を求める意見書が可決



私の知人に痴漢被害でその後の人生に深刻な打撃をうけている方が何人も居て腹立たしい状況です。3月議会において、「痴漢被害の実態調査」「性暴力ワンストップ支援センターの増設を行う等相談窓口を充実」「痴漢加害根絶の為の啓発や加害者更生を推進」「警察庁や民間事業者と連携しながらの政府をあげての取組」「公教育に人権・ジェンダー視点に立った包括的性教育を位置づけ、性犯罪についても充実した教育の実施」等を政府に求める意見書が提出され、維新以外の**賛成多数で可決し日本政府に提出されました。**

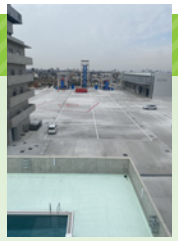
今年の津久野駅周辺再整備

URビルが老朽化している事や東西の往来が不便な事等の改善の為、再開発の必要性について何度も議会で取り上げ取り組みを進めてきましたが、3月の委員会でも議論・要望しました。堺市建築都市局は、「本年は、URやJR等の関係者と協議調整を行う為に必要な調査検討など、市街地整備の方策検討に取り組む予定となっていることから、地元主体の市街地再整備をめざし、機運醸成、地権者の意向把握などの合意形成や組織化に向けた活動支援を堺市が行う」と答弁しました。様々な困難がありますが、引き続き取り組みを強く求めて行きます。

脱炭素先行地域について

環境モデル都市である堺市は、先進的な環境政策を行っていくことが求められています。実際、環境政策の取り組みは、産業振興の観点からも取組が重要になってきています。そのような中、国からの自治体向けの様々な支援制度を取り込んでいくことが、政策的にも財政的にも重要になってきます（交付上限50億円）。昨年度、環境省から募集があった、民生部門の電力消費に伴うCO_2排出の実質ゼロを目指す「脱炭素先行地域」について、昨夏以降、堺市として応募するように求めてきた結果、本年4月に、26地域の一つとして選定されました。引き続き脱炭素・カーボンニュートラルに向けて議論をすすめていきます。

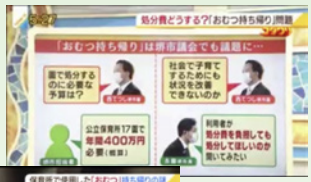
受援体制と防災センターについて



阪神大震災や中越地震等、議員になる以前に救援に行かせていただいた経験から、大規模災害が起きた時に、どのように広域的な支援を効率的に他自治体からしてもらうか（＝受援）の体制構築が重要であると考え、平成28年に受援計画の策定を堺市議会ではじめて要望して以降、受援環境整備を求めてきました。本年4月に、地域の連携強化、地域防災を担う人づくりの推進、**円滑な受援体制の確立**を目的として、「堺市総合防災センター」が開設されました。引き続き災害対策について取り上げていきます。

保育園・こども園のオムツ持ち帰りについて

堺市立こども園で、乳幼児の使用済み紙オムツを、保護者が持ち帰らなければいけないと、保護者の方から連絡を頂き、親しい保護者や保育士の方々にもヒアリングしたところ、保護者にとって、排泄物をもったまま買い物や病院に行く必要がでてくる等負担が大きく、保育士にとっても大変な労働環境になっている、とのことでした。首都圏を中心にオムツの持ち帰りをやめた自治体は多くあることもあり、2月の委員会で取り上げました。その結果、どのようなやり方がいいか、費用負担の在り方も含めて、堺市子ども青少年局が保護者にアンケート調査を行って改善について議論が進み始めています。



毎日放送の夕方のニュースでとりあげられました

カジノについて

永藤市長はじめ維新の会は、カジノで大阪がよくなるかのように宣伝していますが本当にそうでしょうか。先日もカジノ計画の為に**788億円もの公金投入**が決定されました。カジノの年間想定来場者は3年目で1600万人ですが、これはコロナ禍前のＵＳＪの来場者数1450万人を大幅に上回る想定で**非現実的です**。また大阪港湾局の資料によると、カジノの粗利4900億円のうち、日本人客から2700億円、外国人客から2200億円を得ることを想定しています。つまり**外国人向けの計画から、日本人の「負け」に多くを依存する計画に変わっています**。本当にこのままでいいのか、冷静に見直していく必要があると思っています。

バス停名称変更

堀上緑町1丁のバス停が2か所あるにも関わらず同じ名称である為に、ネット等で検索する時に混乱し、乗り遅れが発生する等している件について、利用者の方々から声をいただき要望した結果、副名称をつけていただき識別することができるようになりました。バス離れにつながるような事は一つ一つ地域の声をあげて、バス路線の維持の為に引き続き取り組んでいきます。

市政に関するご意見をお寄せください。

西てつし　市政相談所

〒593-8322　堺市西区津久野町1-1-1-2F
TEL.072-260-1977 FAX.072-260-1978
E-mail : info@nishitetsu.net　Twitter : @nishitetsu1977
http：//www.nishitetsu.net